

施策の評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
	計画	基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード 061749
		施策	49	シティプロモーションの推進	本冊ページ 104
	関連個別計画				
担当部局		政策財務部			
施策の内容(番号)		154		~	155

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
154	さまざまな機会を捉え、本市の魅力や暮らしやすさを効果的に市内外へ情報発信し、さらなる本市の認知度の向上をめざします。	B	①	東京事務所 / 広報課
155	情報発信ツールを有機的に結び付け、多くの魅力を互いに連動させながら、効果的な地域資源の情報発信に取り組みます。	A	①	広報課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	B	A					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		管理コード	061749154
	計画	基本政策	17	交流人口の拡大		本冊ページ	104
		施策	49	シティプロモーションの推進			
	関連個別計画						
担当部局	政策財務部						
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	154	さまざまな機会を捉え、本市の魅力や暮らしやすさを効果的に市内外へ情報発信し、さらなる本市の認知度の向上をめざします。					

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	○ 実施評価	
	担当課		何		◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価	
					決算額 (千円)	今後の方向性	
154-1	魅力発信イベント開催事業	つデイ等の本市の魅力発信イベントの開催	効	首都圏における本市のPR及び認知度の向上	◆ つデイ2回、つデイパネル展2回、他自治体等との共催5回を予定	○	つデイ2回、つデイパネル展2回、他自治体等との共催4回を開催。来場者の本市への関心度は高く、知名度の向上が図れた。イベント開催の機運も高まっていることから、さらなる拡充・充実を図る。
			誰	首都圏に在住する人及び企業	◇ 来場者等の意見(津市への興味等)	○	
	東京事務所	何	本市の観光、物産及び市内企業PR等による知名度の向上	1,272 (千円)	拡充・充実		
154-2	津市フィルムコミッション事業	ロケ誘致等を通じて映像作品に津市が取り上げられることによる魅力の発掘	効	津市への興味・関心の喚起イベント等への来場(来津)	◆ ロケ誘致及び誘致に成功した作品と絡めた津市のPR活動の実施	○	令和3年度にロケ誘致に成功した「THE LEGEND&BUTTERFLY」の公開に伴って、令和4年度はイオンモール津南へのパネル設置を行った。また、同じく令和3年度にロケが行われた「わたしの幸せな結婚」では、令和4年度にイオンモール津南及び専修寺でパネル展を行うとともに、ロケ地マップの作成・配布やSNSを活用した専修寺とのタイアップ企画を通じて多くの映画ファンに津市をPRできた。
			誰	市内外の人々	◇ ロケ件数、訪問者数	○	
	広報課	何	津市の認知度の向上 観光客、移住者の増加 市民のシビックプライドの醸成	535 (千円)	拡充・充実		
154-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
154-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
154-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和4年度分)

154-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
154-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
154-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
154-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
154-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	B
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	C	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード	061749155
		施策	49	シティプロモーションの推進	本冊ページ	104
		関連個別計画				
	担当部局	政策財務部				
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	155	情報発信ツールを有機的に結び付け、多くの魅力を互いに連動させながら、効果的な地域資源の情報発信に取り組みます。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
	担当課		何	誰	◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価	
155-1	広報津発行事業	市民に親しまれる広報紙の発行	効	市政や各種事業・イベント情報などを知る	◆ 月1回以上発行	◎	担当課と相談をしながら、正確で分かりやすい市政に関する情報を発信することができた。今後も、担当課と緊密な連携を行いながら、より効果的な情報発信を継続していく。
	誰		市民	◇ 発行回数及び発行部数	○		
	何		市民が必要とする正確な情報を得られる	54,198 (千円)	現状維持		
155-2	ホームページ情報発信事業	ホームページ及びアプリケーションの運用・管理	効	市政や各種事業・イベント情報などを知る	◆ 適切な運用管理	○	担当課からの掲載依頼に対して、広報課で内容やアクセシビリティのチェックを行ったうえで、迅速な発信ができた。今後も担当課の掲載依頼に対して迅速な対応をしていく。
	誰		市民	◇ 適切な運用管理	○		
	何		市民が必要とする正確な情報を得られる	5,555 (千円)	現状維持		
155-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
155-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
155-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和4年度分)

155-6	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
155-7	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
155-8	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
155-9	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
155-10	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。